

三愛 ビュー view

発行所：三船病院相談室
 創刊日：2003年8月15日
 〒763-0073
 香川県丸亀市柞原町366
 Tel 0877-23-2341
 Fax 0877-23-2344



「新生・三船病院デイケア」

デイケア室 課長 國宗 聖子

「就労支援への取り組み」

デイケア室 作業療法士 久川 陽子

目標プログラムで就労がしたいと希望したメンバーを対象にそれに向けたプログラムを実施しています。プログラムには就労したいと希望した方全員が参加できるものと、精神状態や生活が安定している方を対象としたものとに分けられており、本人の状態や頑張りに応じて段階的にステップアップできる仕組みとなっています。

全員参加出来るプログラムとしてはワーキングロードがあります。参加者を限定したものとしては SST、お掃除したろーず、未来講座があります。各プログラムの目的として、ワーキングロードは就労に対する知識を得ることや意識の強化、SST はコミュニケーション能力を高めることや自己認識の返還、お掃除したろーずは清掃作業を通して役割や責任を継続して果たす、未来講座は生活を見直していくための講座となっており、それぞれの目標や課題に向けて取り組めるようなものになっています。

プログラムと並行して個別面接も定期的に行い、本人の希望の確認や目標に対する今の進捗状況などを話し合いながら、最終的には一般就労や福祉的就労を目指していきます。また就労に向けての取り組みだけではなく、デイケアから就労に繋がった方のフォローアップも同時に行っています。

デイケアで就労支援をするメリットは①医学的な視点からの評価が出来ること②生活基盤作りへの介入が出来ること③同じ目標を持つ仲間同士でプログラムに取り組めることです。特に③については就職したいという気持ちをより強化したり、隠し持っている気持ちを引き出すことが出来るなどメンバー同士の力動を利用した関わりが可能だと思っています。デメリットとしては仕事に直結するような作業体験ができないことが挙げられますが、それは他の就労関係機関と連携しながら進めていくことでカバー出来ています。

今後もメンバーの目標に沿ったプログラムを行い、それに近づけるような支援ができるようスタッフ一丸となって頑張っていきたいと思っています。



この度昨年11月に新館が完成し、その2階スペースで新デイケアがスタートしました。建物を新しくするだけでなく、三船病院デイケアがより利用者様にとって有意義で役立つものとなるよう活動内容を再検討し、11月の新館への引っ越しまでにスムーズに変化、移行していく為、綿密に計画を立て準備してきました。デイケア活動の再検討のポイントは、近い将来従来型と展開型に分けて活動することを見越して、利用目的に合わせた活動を中心に組み込んでいくことと、その中から就労等ステップアップしたいという利用者を掘り起こし展開型の活動に繋げていくことです。利用者各々のデイケア利用目的に沿った活動を行う為、“目標プログラム”を導入しました。ここではその“目標プログラム”から“就労支援系プログラム”への流れをそれぞれの担当スタッフから紹介します。

デイケアの現在の活動と今後の展望について知っていただくことで、より多くの方に関心を持っていただき三船病院デイケアのご利用に繋がれば幸いです。



「目標プログラムとは」

デイケア室 作業療法士 徳井 のぞみ

新デイケアのスタートに合わせて、“目標プログラム”を開始しました。居場所や活動の場としてだけではなく、メンバーが目標を叶えられる場所であってほしいと思って始めたプログラムです。チェックシートをもとに1ヶ月の生活を振り返り、就労・健康・生活向上の3つのグループに分かれ、同じ目標をもつ仲間と意見交換します。自分自身を振り返ったり、目標を再確認したりすることで、自分に必要なプログラムは何か考え、それぞれの目標に近づけるようなプログラム構成となっています。

開始当初は、プログラムが変化することで新しい取り組みに馴染めなかったり、デイケアを居場所として利用していた方も多く戸惑ったりしていました。しかし、回数を重ねる内に目標の考え方や、デイケアでの過ごし方は劇的に変わりました。目標を意識してプログラムに参加し、デイケアでより充実した時間を過ごせるようになったのです。目標に向かって頑張る姿は、以前にもまして輝いています。



グループホームでの個別支援について

共同生活援助事業所レイクビュー

サービス管理責任者 大谷沙緒里・濱元香里・有木愛美

三愛会共同生活援助事業所は、レイクビュー、レイクビュー2、レイクビュー3、清和荘、やよい荘、五月荘、MM ハウス、花園荘、下久保荘、短期入所事業があり、それぞれのグループホームに特徴があります。共同生活援助(グループホーム)とは、地域において共同生活が可能で障害者に対し、夜間の生活の場(住む場所)を提供し、生活の場で必要な相談、その他日常生活上の援助を行うことを言います。

具体的な支援内容は、相談援助(生活上必要な相談援助)、服薬管理(事務所で薬の預かり、服薬の確認、仕分けのサポート)、金銭管理(事務所にて現金の預かりや管理をサポート。通帳等の預かりは、日常生活自立支援事業を利用していただいています)、受診援助(必要に応じて同行。病状悪化時には早期介入、受診や入院のサポート)、生活援助(掃除、食事、入浴、洗濯など、日常生活に必要なサポート)、を行っています。また、グループホームは夜間の生活の場であるため、日中活動であるデイケアやデイナイトケア、就労継続支援B型事業所等への送り出しのサポートも行っています。土日や長期休暇を利用し、レクリエーションや初詣なども行っています。三愛会共同生活支援事業所では、スタッフが7:30から19:30まで事務所こいしますので、困ったことや不安なことがあれば相談にのることができます。

様々な支援がありますが、入居されている方全員に対

して、全ての支援を提供するわけではありません。実際に入居された後にはご本人やご家族と話し合い、どのような生活を送りたいか等の希望をうかがいます。その上で、その希望に近付いていけるよう目標を立て、個別支援計画を作成します。それに基づいて、ご自分で行うことはご自分で行っていただき、ご自分で行うことが難しい部分を支援します。また、個別支援計画は半年ごとに見直していくため、生活状況の変化に応じて計画の内容も変化していきます。グループホームに入居されたときには薬を事務所で預かっていましたが、現在では自己管理ができるようになったという方もいらっしゃいます。

対象となる方は、①精神障害や知的障害があり住まいの確保が困難で、生活支援が必要な方②グループホームを利用することで地域での生活が維持できると思われる方③住所地の市や町より支給決定があった方④仕送り、年金、生活保護など生活費の保障がある方⑤家族の了解、協力、援助の得られる方(連絡先が確認できる方)⑥共同生活が可能なお方です。入居を希望された場合、すぐに入居となるわけではなく、ご本人の望む生活がグループホームで合っているかどうかを検討する必要があります。そのため、関心のある方は、現在かかわっている病院の主治医や、病棟や相談室のPSWに相談をよろしくお願いいたします。



三船病院医師からのメッセージ・・・



「紫外線が強くなる季節になりました」

三船病院 医師 横村 真

紫外線が強くなる季節になりました。紫外線は、身体にとって良い面と悪い面を併せもっています。どちらかというと、悪い面の方が多いと考えられています。

まず良い面としてはビタミンDの生合成があります。しかし、これはあえて日光を浴びなくても日常生活で知らず知らず浴びてしまう程度の紫外線で十分まかなわれ、食物からも摂取できますので、まず不足することはないと考えられています。

一方、悪い面に関してはたくさんあげられています。一時に大量の紫外線を浴びれば日焼け(サンバーン)を起こしてしまいます。また、少量でも長年にわたって浴び続けられれば慢性障害として光老化が起こります。これは色素斑(シミ)、しわ、皮膚の良性・悪性の腫瘍として歳をとってから現れてきます。

紫外線から皮膚を守るために以下のことに気をつけましょう。太陽の下、屋外で様々なスポーツなどを楽しむことは、心身のリフレッシュにとっても有意義なことですが、小麦色の肌を求めて海岸で身体を焼くというような日光浴は、皮膚の健康の観点からは避ける方がよいでしょう。特に、小児期から無用な紫外線暴露を避ける生活習慣が望まれます。日傘、広いつばが全周にある帽子、長袖、長ズボンなどにより、皮膚に到達する紫外線をできるだけ減らすことが第一です。そして、皮膚には最後の砦として日焼け止めを塗るとよいでしょう。

三愛会 トピックス

★第43回 相談室セミナー

2月15日に相談室セミナーを開催しました。
 今回は、丸亀市のまちづくり出前講座で丸亀市健康課の保健師さん2名をお招きして、生活習慣病予防について講義をして頂きました。生活習慣病になりやすいとされる食事や間食の取り方、日々の過ごし方、簡単なストレッチなどを教えて頂きました。質問も飛び交い、わきあいあいとした雰囲気でもみなさん楽しみながら学ばれていました。



★三船病院 家族会

5月13日に三船病院家族会を開催しました。今年の演芸会では、ゲストにソロシンガーの“わかめ”さんをお招きしました。披露していただいた曲は皆様の馴染みのものも多く、一緒に口ずさみながら楽しめる方も多くいらっしゃいました。あいにくの雨天でしたが、たくさんの方々が来場され、恒例のバザーも好評をいただきました。



三船病院 委員会活動紹介

情報システム委員会

委員長 副院長 川田 浩

情報システム委員会は2006年8月に発足し、早12年経過しました。三愛 view での私の同委員会紹介としては今回で2回目になります。前回紹介は2008年であり、当時の当院情報システムとしてはオーダーリングシステム(処方、検査のオーダー)、入院患者情報データベース(よしシステム)、院内LANによる院内情報システム(デジタルPOST、空木の蔵)がありました。大きく変わった所は、2013年よりオーダーリングシステムが電子カルテLIVEに移行し、業務の効率化とともに多職種の診療情報の共有がスピーディーに行われるようになり、患者サービスに割り当てる時間をより増やすことができるようになりました。

また当委員会の主な役割の1つに情報システムのセキュリティ対策を図ることがあります。便利な情報シ

テムですが、一番の問題点はデジタルデータが暴露ウイルスに感染すると大量の情報が瞬時に世界に閲覧されてしまうことです。その為、情報セキュリティは欠かせないし、各職員に個人情報保護の意識を高めるよう個人情報保護委員会と一緒に意識づけしています。

最近、地球の温暖化が問題になっているが、当院でも企業責任としてecoを推進しています。その一環として当委員会では各委員会などで液晶プロジェクターによる会議を開催し、できるだけコピー枚数を減らす目標をたて啓蒙活動をしています。この10年の成果としてコピー枚数を40%強も減らすことができました。

これからも当委員会は、情報システムの推進により、業務の効率化による患者サービスの向上を図るとともにecoを追求していきます。

《委員会》

- ・教育委員会(第1水曜日)
- ・個人情報保護委員会(第1水曜日)
- ・情報システム委員会(第1水曜日)
- ・クリカルパス委員会(第1水曜日)
- ・地域生活支援委員会(第1水曜日)
- ・行動制限最小化委員会(第1金曜日)
- ・人権委員会(第1金曜日)
- ・医療安全管理委員会(第2水曜日)
- ・衛生委員会(第2水曜日)
- ・業務改善委員会(第2水曜日)
- ・診療録管理委員会(第2金曜日)
- ・薬事審議委員会(第2金曜日)
- ・院内感染対策委員会(第3金曜日)
- ・栄養管理委員会(第2水曜日)
- ・褥瘡予防対策委員会(第2水曜日)
- ・患者サービス向上委員会(第2水曜日)
- ・病院機能評価委員会(水曜日)
- ・倫理委員会(年1回)
- ・医療ガス安全管理委員会(年1回)
- ・予算管理委員会(年1回)
- ・接遇管理委員会(年2回)
- ・診療情報提供委員会(随時)



【介護老人保健施設 福寿荘】

「誕生日のお祝い」

お誕生日おめでとう



介護福祉士 齋藤 誠良

皆さん、こんにちは。私は介護福祉士としてこの福寿荘に勤務しておりますが、この4月から毎月行われている入所者、通所者の誕生日会を任されることとなりました。具体的に誕生日会とはどのようなことをしているのかを紹介していこうと思います。

まず始めに、その誕生月生まれの方を1人1人紹介してきます。その時、誕生者には1言ずつコメントをもらうようにしています。次に通所の方々や誕生日会に参加された入所者からの歌のプレゼント、後はケーキ等のおやつを食べて楽しんでいただくという流れになっています。

実際、このように説明してみると、行っていることは少なく感じられますが、この誕生日会で歌や楽器演奏を披露することを楽しみにされている方もいらっしゃいます。

そんな方々の思いを旨に、これから自分が担当していく誕生日会では、お祝いされる方々だけでなく、お祝いする側の方々も楽しめて、自分の誕生月が来るのを楽しみにしてもらえるように出来ればよいなと思っています。

これから試行錯誤しながら笑い声があふれる誕生日会を目標にお祝いしていきたいと思っています。



【三愛会コミュニティケアセンター】

「障害者就業・生活支援センターくばら」

就労支援ワーカー 安久都 仁美

障害者就業・生活支援センターくばらでは、会社で働くこと、地域で生活することに関する悩みや困りごとがある方に対して、雇用・福祉・教育などの関係機関と連携しながら就労と生活の両方から相談・支援を行っています。また障害のある方を雇用している、またはこれから雇用を考えている企業に対して相談や情報提供を行っています。障害者雇用をお考えの企業の方へ安心して雇用していただけるように電話相談や企業訪問を行いながら、雇用前、雇用後の支援を継続して行っています。

くばらに相談に来られる方の多くは、一人での就職活動や就労継続に不安を感じています。精神、発達障害者への支援件数は年々増加傾向で、長期的な関わりを必要とするケースも多いです。初回面談時には障害者手帳の取得、障害のオープンクローズ、体調の不安定さなど迷いや不安を抱えての相談も少なくありません。働き方のニーズも多様で、それぞれの希望に応じた企業開拓も必要となってきています。

平成30年4月から障害者雇用義務の対象に精神障害者が加わり、障害者の活躍の場がますます広がろうとしています。今後就労支援に携わる支援者に求められる役割も大きくなり、幅広い視点とフットワークの軽さが必要になってくると思っています。地域の就労支援ネットワーク作りにおいてもくばらが軸となり、地域の中での課題に目を配ることで、地域全体の就労支援の向上を目指すことが役割として求められていると思います。

《三船病院からのお知らせ》

例年開催しておりました三船病院夏祭りは、現在の大規模建て替え工事に伴い今年の開催は中止となっております。

《編集後記》

すがすがしい初夏の季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。当院では建て替え工事が今も続いています。皆様方にはご不便をおかけすることもあるかと思いますが、1面でもふれましたように、建物だけでなく病院の機能としても新しくより良いものとなるよう努めてまいりたいと思っています。

(三船病院相談室PSW)